

平成25年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	5
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 長期借入金の残高状況	9
8. 償還計画と実績の対比	10
9. キャッシュフロー計算書	11
10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	12
11. 供用実績	13

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

＜根拠法令等＞ 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業は、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

償還準備金積立方式を採用

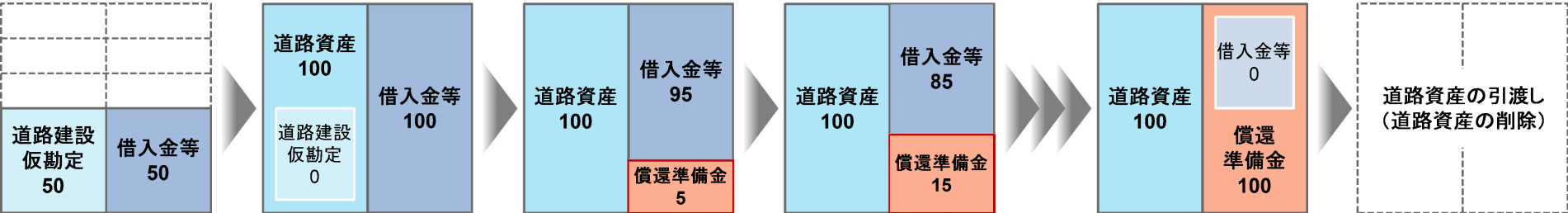
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

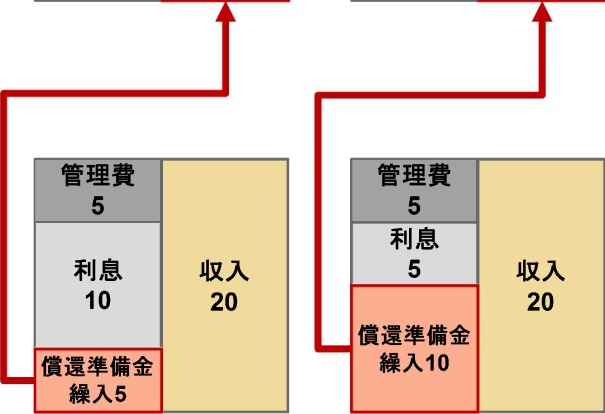
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



貸借対照表



損益計算書



3. 収支状況

平成25事業年度損益計算書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

（単位：百万円）

費 用 の 部				収 益 の 部			
勘 定 科 目	H25年度	H24年度	増減額	勘 定 科 目	H25年度	H24年度	増減額
	A	B	A－B		A	B	A－B
経常費用	55,255	53,481	1,774	経常収益	55,893	53,513	2,380
事業資産管理費	10,050	10,007	43	業務収入	55,409	53,246	2,163
福岡高速道路管理費	6,345	6,178	167	道路料金収入	54,836	52,615	2,221
北九州高速道路管理費	3,601	3,728	△ 127	（福岡高速道路）	38,536	36,975	1,561
福岡駐車場管理費	65	61	4	（北九州高速道路）	16,301	15,640	661
北九州駐車場管理費	39	41	△ 2	ETCマイルージ還元負担金収入	215	208	7
一般管理費	1,452	1,202	250	（福岡高速道路）	194	187	7
一般管理費	1,229	979	250	（北九州高速道路）	22	21	1
その他	223	223	0	駐車場料金収入	217	212	5
引当金等繰入	34,037	32,250	1,787	（福岡高速道路）	128	123	5
道路事業損失補填引当金繰入	2,611	2,505	106	（北九州高速道路）	89	89	0
（福岡高速道路）	1,835	1,761	74	ETCマイルージ引当金戻入	9	57	△ 48
（北九州高速道路）	776	745	31	（福岡高速道路）	7	43	△ 36
償還準備金繰入	31,426	29,744	1,682	（北九州高速道路）	2	14	△ 12
（福岡高速道路）	23,370	22,676	694	その他	131	154	△ 23
（北九州高速道路）	8,055	7,068	987	受託業務収入	344	156	188
受託業務費	344	156	188	負担金事業受入金	19	15	4
負担金事業費	19	15	4	業務外収益	122	97	25
業務外費用	9,353	9,852	△ 499	受取利息	10	12	△ 2
債券利息	6,437	6,416	21	その他	112	85	27
借入金利息	2,708	3,219	△ 511	特別利益	0	10,148	△ 10,148
その他	208	217	△ 9	道路事業損失補てん引当金取崩益	0	10,148	△ 10,148
特別損失	583	10,148	△ 9,565	福岡高速道路事業損失補てん引当金取崩益	0	10,148	△ 10,148
償還準備金繰入損	0	10,148	△ 10,148				
福岡高速償還準備金繰入損	0	10,148	△ 10,148				
固定資産無償譲渡損	583	0	583				
固定資産無償譲渡損	583	0	583				
当期利益金	55	32	23				
合 計	55,893	63,661	△ 7,768	合 計	55,893	63,661	△ 7,768

（注）各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、388億4,100万円(対前年度比15億1,500万円の増)となりました。これは、環状線の利便性向上の持続効果や景気を持ち直しなどによる通行台数の増加(対前年度比6,986台/日の増)により増収となったものです。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)と特別損失の合計は、154億7,100万円(対前年度比8億2,200万円の増)となりました。主な増加要因としては、老朽化対策による補修費の増加、建設終了に伴う人件費の割掛変更、納付消費税の増加によるものです。支払利息については金利低下等により減少しています。また、特別損失については市道への土地移管のため、事業用資産(道路用地)を無償譲渡したものです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、233億7,000万円(対前年度比6億9,400万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

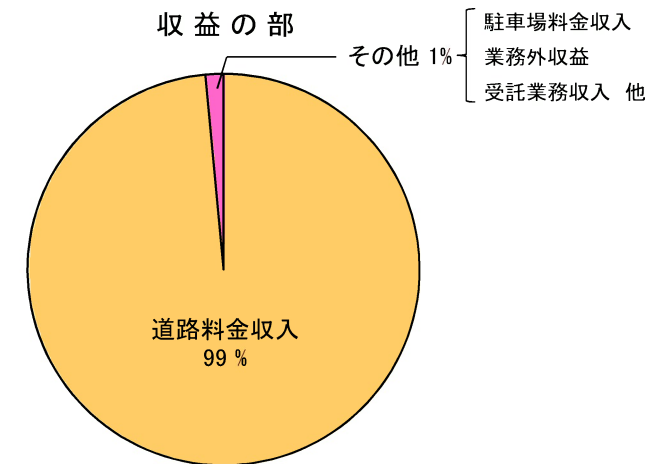
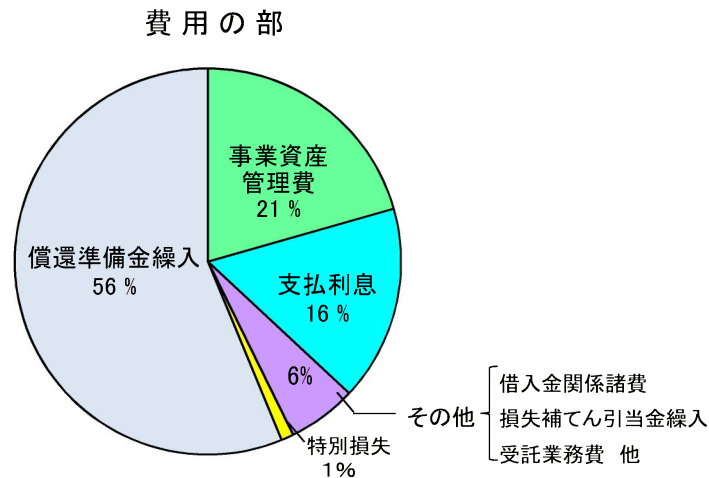
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、164億6,800万円(対前年度比6億6,600万円の増)となりました。これは、黒崎バイパスと東田出入口直結により通行台数が引き続き伸びていることなどから、全体交通量では前年度比2,630台/日の増加となりました。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、84億1,200万円(対前年度比3億2,200万円の減)となりました。主な減少要因としては、補修費や支払利息が減少したことによるものです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、80億5,500万円(対前年度比9億8,700万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

【駐車場部門】

- ① 当期利益は5,500万円(対前年比2,300万円の増)となりました。

☆損益計算書の内訳(道路部門・駐車場部門の合計)



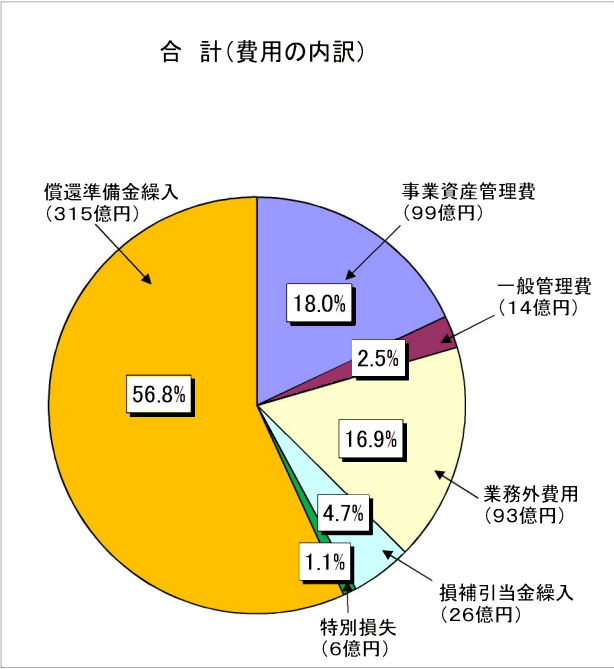
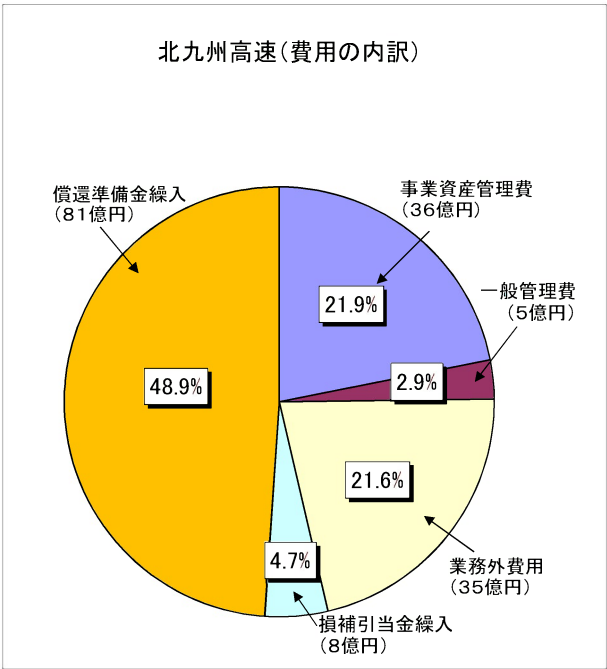
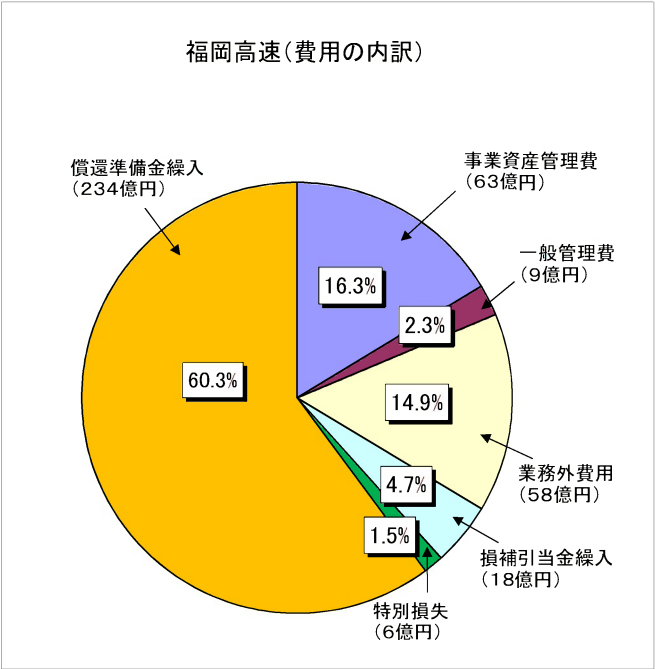
4. 営業中道路の収支状況(収支率)

「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(単位:百万円)

福岡高速道路									北九州高速道路								合 計									
収益 A	営業中道路に係る費用						償還準備金繰入額 A－B	収支率 B/A× 100円	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A－B	収支率 B/A× 100円	収益 A	営業中道路に係る費用						償還準備金繰入額 A－B	収支率 B/A× 100円	
	事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	特別損 失	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	特別損 失	計 B			
H25	38,841	6,345	910	5,797	1,835	583	15,471	23,370	39.8円	16,468	3,601	480	3,554	776	8,412	8,055	51.1円	55,309	9,946	1,391	9,352	2,611	583	23,883	31,426	43.2円
H24	37,326	6,178	594	6,117	1,761	0	14,649	22,676	39.2円	15,802	3,728	527	3,734	745	8,734	7,068	55.3円	53,128	9,906	1,121	9,851	2,505	0	23,384	29,744	44.0円

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。



5. 財務状況

平成25事業年度貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H25年度	H24年度	増減額	勘 定 科 目	H25年度	H24年度	増減額
	A	B	A－B		A	B	A－B
流動資産	5,378	4,650	728	流動負債	80,984	74,535	6,449
固定資産	1,248,194	1,246,686	1,508	固定負債	621,595	659,948	△ 38,353
事業資産	1,245,020	1,244,339	681	福岡北九州高速道路債券	344,111	350,711	△ 6,600
(福岡高速道路)	869,771	869,615	156	長期借入金	270,090	301,750	△ 31,660
(北九州高速道路)	375,248	374,724	524	退職給与引当金	376	459	△ 83
事業資産建設仮勘定	0	0	0	ETCマイレージ引当金	129	138	△ 9
(福岡高速道路)	0	0	0	資産見返交付金	6,889	6,889	0
(北九州高速道路)	0	0	0				
有形固定資産	2,005	2,081	△ 76	特別法上の引当金等	329,685	295,648	34,037
その他	1,169	266	903	道路事業損失補填引当金	21,913	19,301	2,612
				(福岡高速道路)	3,615	1,780	1,835
				(北九州高速道路)	18,297	17,521	776
繰延資産	869	917	△ 48	償還準備金	307,773	276,347	31,426
				(福岡高速道路)	273,796	250,426	23,370
				(北九州高速道路)	33,977	25,921	8,056
				(負債合計)	1,032,264	1,030,131	2,133
				基本金	221,298	221,298	0
				剰余金	878	823	55
				(資本合計)	222,176	222,121	55
資 産 合 計	1,254,440	1,252,252	2,188	負債・資本合計	1,254,440	1,252,252	2,188

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

(資産の状況)

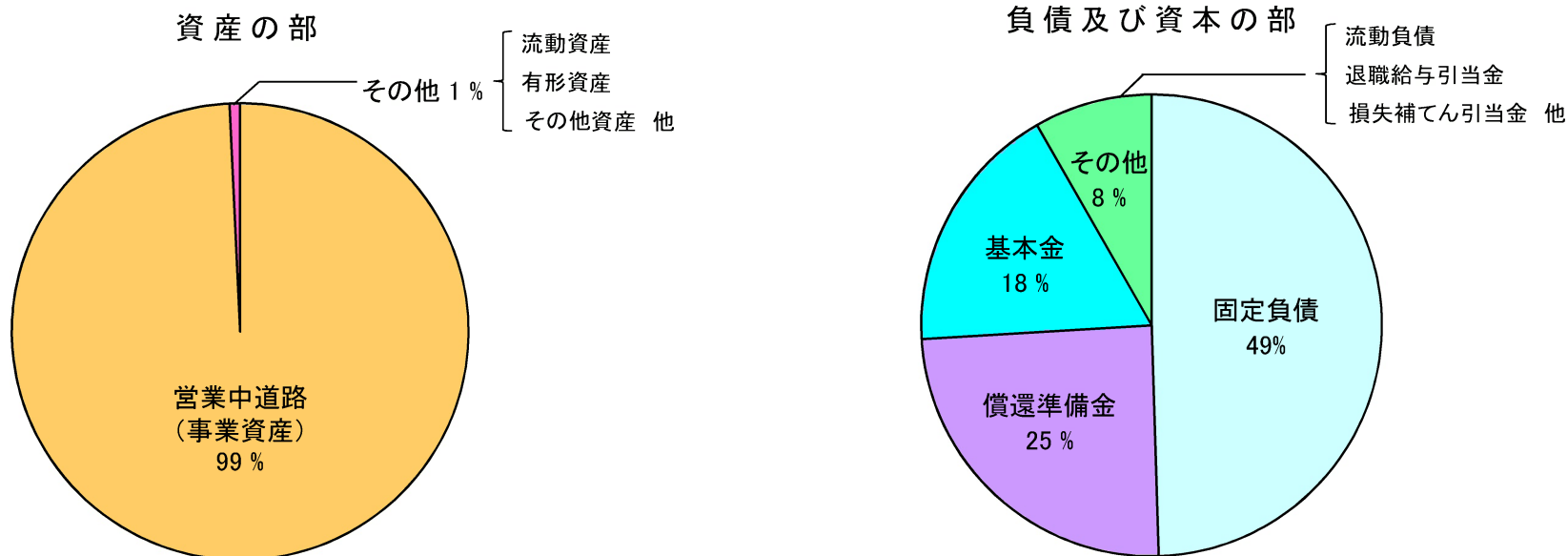
資産の総額は、1兆2,544億4,000万円となっています。このうち、営業中の道路資産は1兆2,450億2,000万円で、資産全体の約99%を占めています。

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,544億4,000万円となっています。主なものは、道路債券などの借入金が6,898億6,100万円(流動負債計上分の短期借入金20億円と1年以内返済予定債券・借入金736億6,000万円及び固定負債計上分6,142億100万円の合計額)、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額(償還準備金)が3,077億7,300万円(福岡高速2,737億9,600万円、北九州高速339億7,700万円)、地方公共団体からの出資金が2,212億9,800万円となっています。

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

☆貸借対照表の内訳



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H25	867,458	273,796	593,662	31.6%
H24	867,302	250,426	616,876	28.9%

【北九州高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H25	370,672	33,977	336,695	9.2%
H24	370,148	25,921	344,227	7.0%

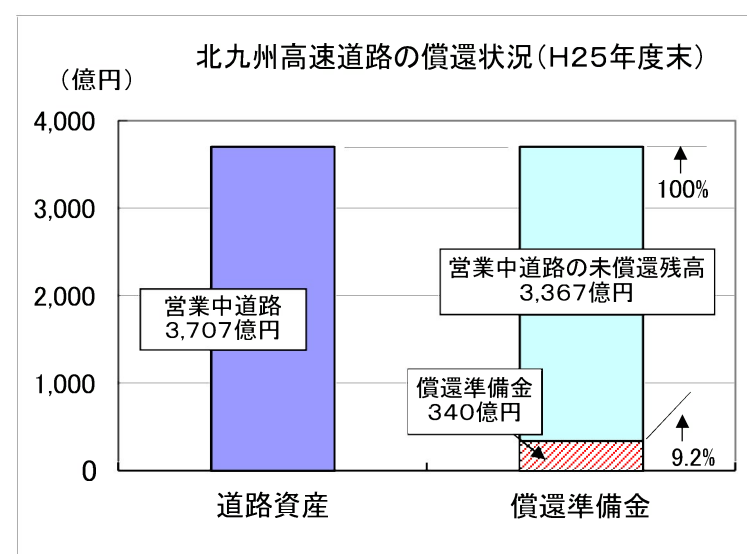
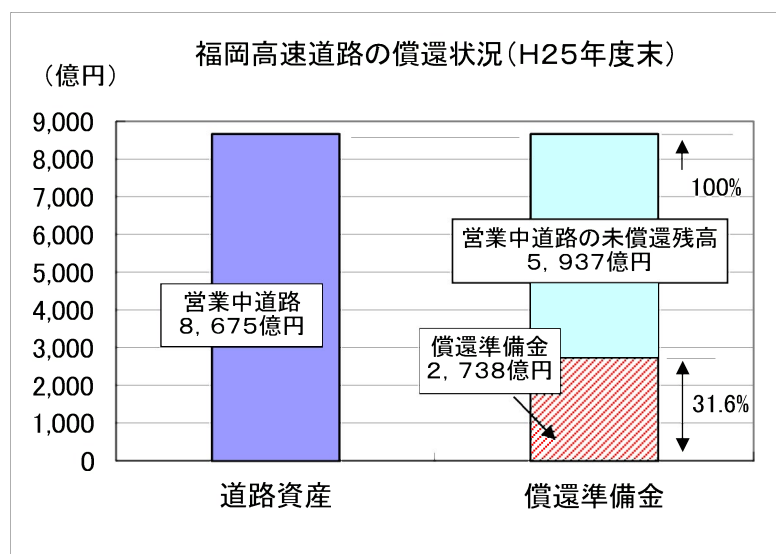
「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金(補助金)を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位: 百万円)

	営業中道路の 資産総額 (a)	資産見返 交付金 (b)	営業中道路 (償還対象額) (a-b)
福岡高速道路	869,771	2,313	867,458
北九州高速道路	375,248	4,576	370,672



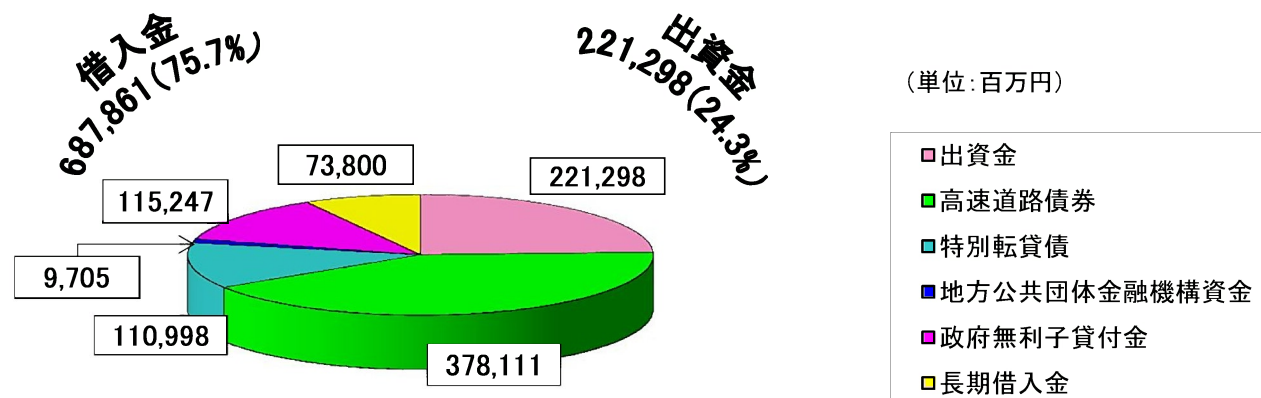
7. 長期借入金の残高状況

平成25年度末借入金残高

(単位:百万円)

		全 体			路線別内訳				
					福岡高速			北九州高速	
		H25年度	H24年度	増減額	H25年度	H24年度	増減額	H25年度	H24年度
		A	B	A-B	A	B	A-B	A	B
設立団体出資金		221,298	221,298	0	163,802	163,802	0	57,496	57,496
借入金	高速道路債券	378,111	374,711	3,400	215,497	216,220	△ 723	162,614	158,491
	特別転貸債	110,998	124,260	△ 13,262	89,054	98,498	△ 9,444	21,944	25,761
	地方公共団体金融機構資金	9,705	10,709	△ 1,004	7,822	8,627	△ 805	1,883	2,081
	政府無利子貸付金	115,247	131,046	△ 15,799	91,018	103,142	△ 12,124	24,229	27,905
	長期借入金	73,800	79,800	△ 6,000	23,500	24,500	△ 1,000	50,300	55,300
	計	687,861	720,526	△ 32,665	426,892	450,987	△ 24,095	260,970	269,538
合計		909,159	941,823	△ 32,665	590,694	614,789	△ 24,095	318,465	327,034

(注)各項目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。



8. 償還計画と実績の対比

【平成25年度決算】

(単位: 億円)

道路名		収益(a)	費用(b)				償還準備 金繰入 (a-b)	償還準備金	事業資産 (交付金除 く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補填	金利	合計				
合 計	決算	553	113 (22)	26	99	238	315	3,078	12,381	25%
	計画	541	139 (19)	26	119	284	257	3,014	12,381	24%
福岡高速	決算	388	72 (16)	18	64	154	234	2,738	8,675	32%
	計画	357	99 (12)	17	72	188	169	2,631	8,675	30%
北九州高速	決算	165	41 (6)	8	35	84	81	340	3,707	9%
	計画	184	40 (7)	9	47	96	88	383	3,707	10%

※四捨五入の関係で計が合わないことがある。

●償還計画の対比方法

実績(平成25年度決算)と対比するため、償還計画に対し、収支計算と損益計算の差額を加減算しました。

償還計画は、福岡高速は平成24年7月料金認可、北九州高速は平成20年10月料金認可を使用しました。

償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差し引いたもので除しました。

●損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補填金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

損失補填金の残高は平成25年度末で219億円となっています。

9. 平成24・25事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	H25事業年度 B	H24事業年度 A	増減額 B－A
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当期償還準備金繰入	314.3	398.9	△ 84.7
当期利益	0.5	0.3	0.2
減価償却費	2.2	2.1	0.1
債券発行諸費等償却	1.7	1.8	△ 0.1
退職給与引当金等の増減額	△ 1.8	△ 1.6	△ 0.2
E T Cマイレージ引当金の増減額	△ 0.1	△ 0.6	0.5
損失補てん引当金の増減額	26.1	△ 76.4	102.5
債券利息	64.4	64.2	0.2
借入金利息	27.1	32.2	△ 5.1
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	△ 3.2	△ 2.5	△ 0.7
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	1.8	0.9	0.9
その他の増減額	6.3	0.1	6.2
小 計	439.4	419.5	19.9
利息の受取額	0.1	0.1	0.0
債券利息等の支払額	△ 64.4	△ 63.6	△ 0.8
借入金利息の支払額	△ 27.3	△ 32.6	5.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	347.8	323.4	24.4
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業資産の取得による支出	△ 9.9	△ 21.5	11.6
建設仮勘定の取得による支出	△ 5.7	△ 11.5	5.8
固定資産の取得による支出	△ 0.1	△ 0.7	0.6
事業資産等の取得による収入	0.0	0.0	0.0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15.8	△ 33.7	17.9
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	20.0	20.0	0.0
短期借入金の返済による支出	△ 20.0	0.0	△ 20.0
長期借入による収入	79.7	78.6	1.2
長期借入金の返済による支出	△ 440.6	△ 439.4	△ 1.3
債券の発行による収入	273.0	249.1	23.9
債券の償還による支出	△ 240.0	△ 208.0	△ 32.0
出資金の受入による収入	0.0	3.7	△ 3.7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 327.9	△ 296.1	△ 31.8
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0.0	0.0	0.0
V 現金及び現金同等物の増加額	4.1	△ 6.4	10.5
VI 現金及び現金同等物期首残高	1.8	8.2	△ 6.4
VII 現金及び現金同等物期末残高	5.9	1.8	4.1

※各項目で四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	5.9 億円	1.8 億円	4.1 億円
現金及び現金同等物	5.9 億円	1.8 億円	4.1 億円

10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

平成25年度

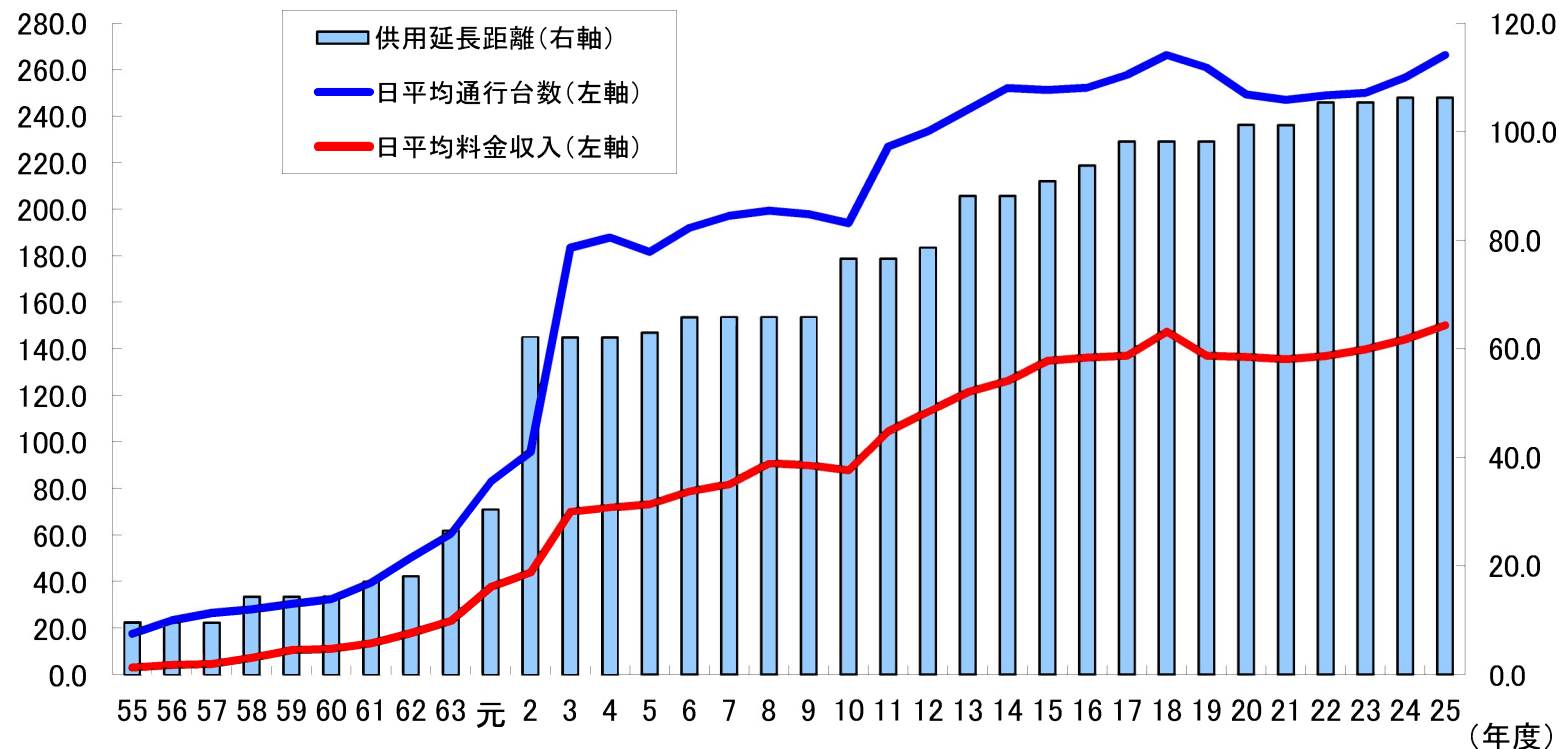
料金収入 **548億円**

日平均料金収入 **1.5億円**

日平均通行台数 **26.6万台**

日平均料金収入・通行台数

(百万円・千台)



供用延長距離	
平成26年3月末現在 106.3km	
料 金	
福岡高速	
普通車	600円
大型車1	200円
北九州高速	
普通車	500円
大型車1	000円

1 1. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)			
		区間	累計		大型車	普通車		
一次供用	S55. 10. 20	5. 9	5. 9	香椎～東浜	400	200		
	S57. 3. 27	—	5. 9	貝塚入口				
	S58. 6. 30	—	5. 9	貝塚出口				
二次供用	S58. 10. 6	1. 5	7. 4	東浜～築港	700	350		
三次供用	S61. 4. 23	0. 8	8. 2	千鳥橋 J C T～呉服町				
四次供用	S62. 11. 6	1. 0	9. 2	築港～天神北	800	400		
五次供用	S63. 10. 31	2. 1	11. 3	天神北～西公園				
				千鳥橋 J C T (渡り線)				
六次供用	H 1. 3. 4	5. 2	16. 5	西公園～百道	1, 000	500		
				呉服町～榎田				
				豊 J C T～空港通				
	H 1. 10. 1	—	16. 5	料金改定	1, 030	510		
	H 2. 12. 25	—	16. 5	名島本線料金所拡幅				
	H 3. 3. 21	—	16. 5	東浜西出口				
	H 4. 4. 23	—	16. 5	名島出入口				
H 4. 7. 1	—	16. 5	東浜西入口					
七次供用	H 5. 4. 2	0. 9	17. 4	香椎東～香椎				
八次供用	H 6. 4. 4	2. 8	20. 2	榎田～月隈北	1, 100	550		
	H 9. 6. 1	—	20. 2	料金改定 (回数通行券料金)				
九次供用	H11. 3. 27	10. 8	31. 0	月隈～水城			1, 200	600
				貝塚 J C T～粕屋				
十次供用	H12. 3. 28	—	31. 0	料金改定・貝塚入口				
				貝塚 J C T (渡り線)				
十次供用	H12. 11. 21	0. 5	31. 5	貝塚 J C T (渡り線)	1, 100	550		
十一次供用	H13. 10. 13	5. 3	36. 8	百道～福重				
十二次供用	H14. 3. 10	1. 9	38. 7	粕屋～福岡 I C	1, 100	550		
	H15. 5. 1	—	38. 7	料金改定				
十三次供用	H15. 5. 1	2. 7	41. 4	月隈 J C T～板付	1, 200	600		
十四次供用	H16. 6. 27	2. 9	44. 3	西月隈出入口・板付～野多目				
十五次供用	H18. 3. 26	4. 4	48. 7	野多目～堤				
十六次供用	H20. 4. 19	3. 1	51. 8	堤～野芥				
十七次供用	H23. 2. 26	4. 1	55. 9	野芥～福重				
十八次供用	H24. 7. 21	0. 9	56. 8	福重 J C T (渡り線)				
備考	堤西および野芥西料金所において自動料金収受機運用							

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長（km）		供用区間	料 金（円）			
		区間	累計		大型車	普通車		
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150		
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園	700	350		
				東港出入口				
	S59. 4. 21	—	6. 9	篠崎南出口				
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代				
				篠崎南入口				
四次供用	S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下到津				
五次供用	H 1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑	720	360		
六次供用	H 2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸				
				東港 J C T～小倉駅北				
				西港出口				
				東港出入口廃止				
七次供用	H 3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金（４号線）	300	150		
					400	200		
					500	250		
					600	300		
					720	360		
	H 5. 4. 1	—	45. 6	料金改定	720	360		
	H 7. 9. 30	—	45. 6	山路出入口	900	450		
	H 9. 6. 1	—	45. 6	料金改定（回数通行券料金）				
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代				
	H12. 11. 1	—	47. 1	料金改定	1, 000	500		
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T				
十次供用	H18. 2. 26	—	49. 5	小倉東IC接続				
十一次供用	H22. 12. 15	—	49. 5	東田出入口				
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設（H17. 3. 31供用） 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設（H18. 3. 4供用） 篠崎北及び大里北料金所において自動料金収受機運用							

（注）料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。